

# 令和6年度 三高時報 第1号

## トップページの更新情報

新聞委員会が『三高時報』第1号を作成しました。

## 記事

○ 水戸三高の文化祭『あおい祭』が6月21日(金)・22日(土)に開催されました。その内容を特集してお届けいたします。

### 1 あおい祭実行委員長(3-2 黒田 小裕嘉)より

生徒会や協力してくださった先生方、他にもたくさんの人の助力があったおかげで第22回あおい祭を無事に終えることができました。

初めての実行委員で委員長になった時はとても不安でしたが、中学生の頃、人前に立つ機会が多かったので、その経験を生かし、あいさつもスムーズに行うことができました。

企画、準備では売り上げはどうするのかや金券の販売など生徒会との試行錯誤の日々でした。うまくいったこともそういかなかったことも、ここで出た反省を次の文化祭に生かしてほしいと思いました。

最後に、みなさんの中に楽しい思い出として残るような文化祭を開催できたことをとても嬉しく思います。本当にありがとうございました。

### 2 クラス企画

○ 各クラスの企画は次の通りです。スペースの都合により、2クラスをピックアップして企画の責任者にコメントをいただきました。

クラス	企画名	企画内容
1年1組	わっしょい 縁日 どっこいしょ	射的、ヨーヨーすくい、輪投げ他
1年2組	呪われた閉鎖病棟	おばけ屋敷
1年3組	曲当て脱出せよ!~ふしぎの国の迷路~	迷路、謎解き、イントロドン
1年4組	夏祭り	焼きそば、ベビーカステラ、飲み物販売
1年5組	アメリカンゴーストフェア2024	人探し、くじ引き、輪投げ、射的他
1年6組	マリオカート	マリオカート風レース対決
1年K組	TEAM K	SDG'sなフォトスポット、キャンドル作り
1年M組	sing swing singing	フリースペース、演奏
2年1組	2-1に住み憑くあの子	「2-1に住み憑くあの子」がテーマのお化け屋敷
2年2組	脱出?おばけ屋敷迷路	おばけ屋敷と迷路と脱出ゲーム
2年3組	荒木写真館	4つのブース(マーメイド、アメリカン、ふうせん、ラプンツェル)
2年4組	2-4のファンタジースプリング	ディズニーがテーマの展示とフォトスポット

2年5組	変な教室	謎解き脱出ゲーム
2年6組	2-6メイド喫茶 ひさし〜こずえを添えて〜	パンケーキ、飲み物販売
2年K組	変なカフェ	映画「変な家」をモチーフとした団子・緑茶販売
2年M組	Mベガス〜24億を越えろ〜	ダーツ、カジノ
3年1組	アメリカンダイナー	アメリカ様式の展示
3年2組	チャイムが鳴る頃に	殺人鬼が潜む屋敷からの脱出
3年3組	アメリカンテラー	アメリカ風の迷路脱出ゲーム
3年4組	アメリカンカジノ	トランプ、ルーレット、ダーツ、占い
3年5組	STAR WARS	スターウォーズ世界観の射的
3年6組	ミニーのファンダーランド	ミニーがコンセプトのフォトスポット、飲み物等販売
3年K組	ファッションショー2	体育館ステージでのミニファッションショー
3年M組	夢チェキリターン	チェキを使っての撮影

## 1年M組

私たちが水戸三高に入学して初めてのあおい祭だったので、何もわからない中たくさん話し合いをしてクラスみんなで計画を立て、M組という個性を生かした演奏会を行うことになりました。最初は緊張と期待が入り混じった気持ちでいっぱいでしたが、ワクワクした気持ちに変わってきました。準備期間が短い中、放課後集まって練習し、黒板アートや内装にもこだわりました。

文化祭当日、校内は活気にあふれ、1年M組にも多くの方が演奏を聴きに来てくださいました。緊張で思ったようにいかない場面もありましたが、みんなそれぞれ全力で演奏し、聴いてくださっている方の笑顔や拍手にとっても感動しました。

この経験は私たちの高校生活にとって特別なものとなり、友情と協力の大切さを学ぶ機会となりました。



(1-M 細谷 美海)

## 2年2組

私たちのクラスは、お化け屋敷をやりました。まずみんなで何をするか話し合い、やることを決めた後、何が必要か何をどうするかなどを決め、準備に取り掛かりました。放課後に残って作業をしていた時は終わるかな、とかいろいろ心配になりましたが、1日半かけてみんなで協力して完成させた時はとても嬉しかったです。助け合い、案を出し合いながら作って、みんなとの関

係がより深まったと感じました。文化祭当日、うまくいくか不安がありましたが、いざやってみると、みんなの反応が良くてとても達成感がありました。1日目は、外装が壊れてしまうなどのハプニングがありましたが、2日目はハプニングなく成功し嬉しかったです。今年が最後の文化祭だったので、全力で楽しめました。



(2-2 相馬 愛海)

### 3 体育館企画

- 体育館では2日間にわたり、音楽科、家政科、軽音楽部、吹奏楽部、コーラス部、演劇・映画研究部、ダンス部、書道部、3年K組がそれぞれの特色を活かしたパフォーマンスを披露しました。各団体の責任者にコメントをいただきました。

#### 音楽科

音楽科では、文化祭1日目に全校生徒や先生方の前で演奏発表を行いました。

私が演奏した「ケルベロス・ドラムス」は、3人の演奏者による打楽器のアンサンブルです。最初3人で合わせた時は息も合わず、個人が自分のことに必死で、他のパートを聴く余裕も全くない状況でした。しかし、個人練習を重ね、合わせをしていくうちに3人の息が次第に合っていくのを実感しました。先生や友達にアドバイスをもらいながら迎えた前日のリハーサルでは、なんとか良い演奏ができる仕上がりにもなり、本番では3人の息が揃い、聴いてくれた皆さんに楽しい演奏を届けることができましたと思います。終了後に皆にかっこよかったよと言われて、打楽器をやっていて本当によかったと思いました。

来年もあのステージ立ちたい！と思わせてくれた皆さんにありがとう！



(2-M 仲田 胡桃)

## 家政科

第28回家政科ファッションショーのテーマは「天使-One in a million-」です。1年前から3年生はドレスのデザインを考え、試作を始めました。自分が考えるデザインを実際に形にするのは難しく、友達、家政科の先生、外部講師などたくさんの人に相談して自分だけのドレスを作ることができました。今回は全校生徒だけでなく、家政科3年の保護者にも見ていただくことができ嬉しく思いました。1年という長いと思いきや、案外時の流れは早く、4月になってからは大忙しの毎日、意見が合わず衝突することもありましたが、観客だけでなく、家政科全員が楽しむことができ、笑顔で終わることができました。



(3-K 小沼 くるみ)

## 軽音楽部

今回のあおい祭は私たち軽音部にとって、最も重要なイベントでした。3年生の中にはあおい祭で部活を引退する人もいたので、各バンドの演奏する姿が輝いて見えました。

コンサートは1日目も2日目も大成功に終わりましたが、その準備には多くの労力を費やしました。中でも危機感を持ったのは、発表前日にミキサーという音響に重要な機械が故障してしまったことです。一時はどうなるかと思いましたが、何とか直ったので安心しました。加えて個人的に苦労したのは部員との情報共有でした。私が考えていたことと部員の考えていたこととですれ違いが生じ、そこで改めて人間の個性の多様さやコミュニケーションの難しさを実感しました。

色々なことがあったけど、実りあるあおい祭になって良かったと思いました。



(3-2 平野 叶実)

## 吹奏楽部

私達は、文化祭で吹奏楽のステージ発表に参加しました。テーマは「ゾンビと奏でるミステリースコア」です。2023年に流行したものや、聞いたことがある曲を中心に文化祭にぴったりの曲を演奏しました。聞いて頂くお客さんに楽しんでもらえるよう、ストーリーの構成を考えるのにとても苦労しました。それでも忙しい中、演奏だけでなく歌やダンスまで、うまくやり遂げたと思います。拍手や歓声など、演奏を聞きに足を運んでくれた方々にとても感謝しています。これからも、水戸第三高等学校の吹奏楽部の応援をよろしくお願いします！



(3-3 上田 芽依)

## コーラス部

私たちコーラス部は、顧問の澤島育美先生、来栖由香里先生のご指導のもと、心に響くハーモニーを奏でるため、日々練習に励んでいます。今回のあおい祭では、親しみやすい合唱曲を選んでプログラムを構成しました。

観客の皆様が、楽曲の合間に温かい拍手や楽しんでリズムを取ってくださっている様子を見て、私達もリラックスして楽しく歌うことができました。準備期間が短い中、特に1年生は新しい曲や振り付けを覚えることは大変でしたが、コーラス部一丸となって練習し、本番では日頃の練習の成果を発揮することができました。

引き続き、一人一人が課題と向き合い、8月のNHK全国学校音楽コンクールでは金賞を目指したいと思います。



(2-M 大山 藍)

## 演劇・映画研究部

私たちは、「世界で1番優しい『舞姫』」という劇を企画しました。この作品は、顧問の関先生によって創作されたものです。

この作品をあおい祭で披露するまでに様々な困難がありました。

この作品は、一時間で上演するのを前提として作られたもので、それを40分の枠に収まるように関先生が調整してくださいました。しかし、放送コンテストと月が重なってしまい、演劇の練習が十分に行えませんでした。

本番では、部員全員で参加できたのが嬉しかったです。しかし、台詞の暗記が不十分なものもあり、台詞を忘れてしまう場面が多かったのが悔しかったです。今回の反省をこれからの練習に生かし、よりよい作品を作り出せるようにしていきたいです。



(3-3 細谷 明日香)

## ダンス部

私たちダンス部3年生の引退ライブ“巔”にいらしてくださったみなさん、ありがとうございました。今までで1番のステージにするために2月下旬から準備をしてきました。しかし、大会と重なったこともあり、たくさんの曲を覚えるための時間の使い方にとっても苦労しました。その分終わったあとの達成感は、今までと比べものにならないくらい最高でした。私たちなりに、全てに全力を尽くして宝物となるステージを披露できたことを嬉しく思っています。

部活動を通して、ものの見方や周りへの気配り、そして何より仲間の大切さに気づかされた2年半でした。楽しいこと、辛いこと、辞めたいと思ったことが何度もありましたが、今ではダンス部に入って本当に良かったと思っています。私たちの想いを次の代にしっかりつなげたので、これからもダンス部をよろしくお願いします。



## 書道部

書道パフォーマンスの準備では、紙を切り張りし、大画面を作るところから始まり、限られた時間の中でペイントの色づくりや沢山の練習を重ねました。

本番は、あおい祭のテーマ「星瞬」に合わせ、中央に星と瞬を書きました。周りには選んだ曲である「GUTS!」の中から印象に残った歌詞を書きました。たくさんの時間をかけて作り上げた作品は私達にとってかけがえのない思い出となりました。



(2-K 細谷 陽愛)

## 3年K組

私たち3年K組は2日目もファッションショーを行うことができたため、一般の方にまで私たちの作品をお見せすることができました。1日目に加えて2日目の構成を考えることは少々大変さを感じることもありました。しかし、全員が協力し部門ごとに1日目とは異なった音源とフォーメーションを決め、それぞれのコンセプトに合うように最善を尽くしました。ステージ発表では1、2年生がいない中での準備と発表でしたが、家政科の先生方が裏で私たちを支えてくださったこともあり2日目のファッションショーも無事に終えることができました。そのため、クラス全員が先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。2日目は1日目とは違った楽しさがあり両日とも思い出に残るファッションショーとなりました。



(3-K 笹嶋 ほのか)

## 4 展示発表等

- JRC部、写真部、美術部、家庭部、書道部、文芸部、漫画研究部、茶道同好会、ソフトボール部、野球部、吹奏楽部は作品展示の他、来場者のためにイベントを行いました。その内容について、新聞委員がレポートをします。

### JRC部

JRC部は、普段の活動やボランティアの様子をまとめた展示と、くれよん工房さんのクッキー販売を行いました。

展示では、学校で集めているペットボトルのキャップを使って製作したけんけつちゃんとアイシティについてまとめたポスターを展示しました。

販売では、2日間で200個のクッキーを完売することができました。2日目の一般公開では、1時間ほどで完売という人気ぶりでした。クッキーにもいろいろな味や形があり1人で数種類を買っていく人もいました。

部員のみんなと顧問の先生のお力添えでJRC部の展示・販売を成功することができました。ありがとうございました。



(3-K 石 乙葉)

### 写真部

写真部は今年、「一瞬の青春を切り取る」というテーマで写真の展示を企画しました。

苦勞したことはテーマに沿った「青春」らしさを感じる作品づくりです。一枚の写真で様々な考察ができたり、観る人の思い出がよみがえったりするような写真を目指すことが、とても難しかったです。題名にもこだわり苦勞して作られた写真なので、多くの人に見てもらえてとても嬉しかったです。あおい祭期間中は分担してそれぞれの出し物の美しさや熱気、楽しさを写真に収めることができ、満足のいく活動ができたと感じました。

一瞬の今、一瞬の青春を感じる一枚一枚心のこもった作品が今回の文化祭を通して作れました。文化祭は終わってしまいましたが、私たち写真部はこれからも一瞬の今にこだわって写真を撮り続けていきます。これらの写真から思い出や楽しさ、面白さなど、少しでも何かを感じてくれたら幸いです。



(3-1 遠藤 あおい)

## 美術部

美術部では作品展示と販売を行いました。

作品展示では、「非現実」をテーマにして制作した作品と、以前、美術部・書道部合同展覧会を行った際に製作した小品群の、合わせて59点を展示しました。展示場所は二階渡り廊下で、実際の広さは想像よりも狭く、展示のパネルの数も限られていたので、展示風景を慎重にイメージしながら準備をしました。

販売では、部員がデザインしたカード、ポストカード、シール、粘土細工を販売しました。販売形式の決定や印刷などを円滑に進めるためにグループを作り、それぞれのリーダーと販売リーダーを中心に企画を進めていきました。

部員全員の協力と顧問の谷島先生のお力添えで展示・企画が無事に行うことができました。



(3-K 三田 結月)

## 家庭部

家庭部は手芸分野で制作したものを展示しました。主に3年生が昨年度までに制作していた、動物ぬいぐるみ、余り布を再利用して作った編みかご、他にも個人で制作した編み物作品やビーズ作品を展示しました。展示場所は昇降口だったため、多くの人に見てもらえたかと思います。



(3-K 小沼 くるみ)

## 書道部

今年度のあおい祭では書道パフォーマンスに加えて作品の展示も行いました。

書道は楷書や行書だけでなく、隷書や草書、篆書など様々な書体があります。私たちはそれぞれ自分に合った書体や先人達を書いた古典を選び練習を重ねながら作品を完成させました。この展覧会では来場して下さった方々に日頃の成果を見ていただけるという嬉しさと同時に緊張感もありました。

当日は多くの方々が私たちの作品を見に来てくださり、とても思い出深い「あおい祭書道展」になりました。



(2-K 細谷 陽愛)

## 文芸部

文芸部は作品の展示や部誌の販売、プラバンの制作体験などを行いました。

今回は、1年生にとっては初めての部誌作成となりました。分からないことだらけで、しかも外部の人の目にも触れるという緊張がありながらも、良い作品を書けていたと思います。

文化祭当日はハプニングの連続でした。プラバン制作を希望する方が予想以上に多かったり、クラスの出し物との両立が難しかったり…。それでも部員同士で協力しながら乗り越えることができました。

文化祭が終わり、反省点や逆に良かった点などを話し合いました。これを活かして、後輩たちがより素晴らしい文化祭を作ってくれることを願います。



(3-5 長谷川 美言)

## 漫画研究部

漫画研究部では、オリジナルのイラストと大正ロマンがテーマのイラストを載せた部誌やポストカードの販売、ラミネートカードの無料配布を行いました。

準備の遅れなどにより、活動は2日目のみでしたが、部員たちで協力したことで、部誌は販売目標であった50冊を大きく上回る、62冊を売り上げることができました。

ポストカードに関しては完売することができ、ラミネートカードも多くの方に配布することができました。

また、自由にイラストが描けるコーナーもとても人気で、お互いのイラストを褒め合う和やかな空間となっていました。

来場者の方の多くが笑顔になってくれたことが、部員にとって大きな励みとなりました。



(3-3 黒澤 恋桜)

## 茶道同好会

私たち茶道同好会は、お茶の提供と茶道具の展示を行いました。

今まで部活動以外ではお茶を出す機会がなかったため、お茶の提供方法や買い出しなどをギリギリまで試行錯誤しながら準備を重ねてきました。校舎の工事の影響で茶道具の移動が大変だったり、想像以上に多くの方にお越しいただき、途中で材料が足りなくなったりといった苦労もありましたが、お客さんから「おいしかったです!」「すごいね!」といった声をかけていただき、自分たちの企画を楽しんでもらえたことが何よりも嬉しかったです。

忙しい中でも最後まで協力してくださった先生方や部員には、感謝してもしきれません。この

あおい祭を通して、みなさんに茶道同好会の魅力が少しでも伝わっていたら嬉しいです。



(3-3 佐野 このみ)

## ソフトボール部

ソフトボール部はあおい祭の出し物としてストラックアウトを企画しました。2年生を中心として協力しあって準備をしました。校内発表は雨天により実施はできませんでしたが、一般公開では多くの方が来てくださいました。たくさん用意した景品もすぐなくなるほどの大盛況でした。

顧問の先生や生徒会のみなさん、その他の先生方のご協力のおかげで企画を盛り上げることができました。あおい祭を通じて、たくさんの人に支えられていることを再認識しました。これからも周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずにプレーしていきます。



(3-2 川上 莉亜)

## 野球部

私たちがあおい祭で企画したことは、ストラックアウトです。企画を実施するためにJK（準備と確認・実現可能性 etc）を意識することができました。一番大変だったのは活動場所の確保です。初めは屋内で行う予定でしたが、使える場所がなくなってしまい、屋外で行いました。苦労もありましたが、感謝の気持ちもたくさんあります。石川富重先生が看板を作ってください、そのおかげで当日たくさんのお客さんが足を運んでくださいました。あおい祭を実施して、たくさんの方の応援のメッセージをもらい、とても励まされました。今後も野球部の一員として部活動はもちろんですが、行事にも積極的に参加・協力していきたいです。



(1-2 永山 奏汰)

## 吹奏楽部

私たち吹奏楽部は「ドキドキ吹奏楽クイズ」と題して、クイズを3問出題し答えられた数によってお菓子やジュースをプレゼントするという模擬店を行いました。1問目は、私たちがそれぞれ自分の担当している楽器を持って写真を撮り、それを見せて楽器の名前を当ててもらう問題を出しました。2問目は、ホワイトボードに簡単なリズムを書いて手で叩いてもらう問題を出しました。この問題は来てくれたお客さんが一番戸惑っていた問題で、私たちにとっても毎回違うリズムを書くことにとっても頭を使いました。3問目は、1問目と同様に自分が担当している楽器で簡単なフレーズを演奏して、その録音を聞いてもらい楽器の名前を当ててもらおうという問題を出しました。実施後は、片付け時に「すごく楽しかった」や「また終わりがたくない」などの声が部員から聞こえてきたので模擬店を企画することを決めて本当に良かったと思いました。



(3-3 上田 芽依)